

サーキュラーエコノミーの実現に向けた サントリーグループのペットボトルの取り組み

サントリーホールディングス株式会社

角倉 剛

2023年6月8日

日本のペットボトルリサイクルの現状

以下は全て日本のペットボトルの回収・リサイクルに関する21年度実績の数字です。

●●●率

94%

▲▲▲率

86%

×××率

20%

(参照)PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書

日本のペットボトルリサイクルの現状

答えは・・・

回収率

94%

リサイクル率

86%

ボトルtoボトル
水平リサイクル率

20%

(参照)PETボトルリサイクル推進協議会 21年度年次報告書

- 日本のペットボトルの回収率・リサイクル率は他国と比較して極めて高い水準にある。
- 飲料業界では約30年前からデザインガイドラインを設定し（色付きペット禁止等）、高品質な使用済みペットボトルが回収される。
- ただし、CO2排出量削減効果が最も大きい、ボトルtoボトル水平リサイクル率は20%にとどまる。
- 飲料業界(全国清涼飲料連合会)としての目標は「2030年 ボトルtoボトル水平リサイクル率50%」

ボトルtoボトル水平リサイクルの特長

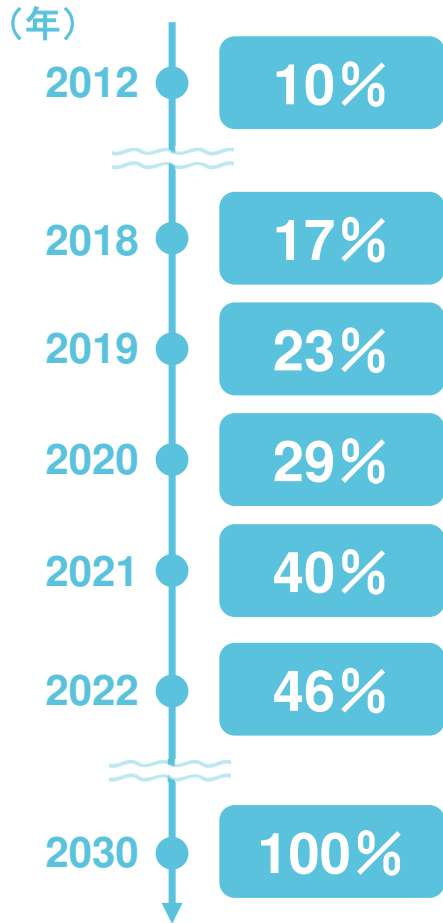


- ◆新たな石油由来原料を使わずに**何度もペットボトルとして循環可能**
- ◆原料調達からプリフォーム製造までの工程において、新たな石油由来原料を使用する場合と比較して**約60%のCO₂排出量を削減**

サントリーの国内でのこれまでの活動と30年目標

サステナブル材※
使用率(重量比)

※リサイクル材 + 植物由来素材



●国内飲料業界初 100%リサイクルペットボトル導入



●世界初 FtoP(フレークtoプリフォーム)ダイレクトリサイクル技術開発
〔フレークからプリフォーム成型までの2回の加熱工程を直結することで
エネルギー削減。石油由来原料使用と比較してCO2排出量約70%削減〕



●プラスチック基本方針策定

●その他プラスチック再資源化企業「アールプラスジャパン」設立



●100%植物由来素材ペットボトル試作品完成

●リサイクル教育プログラム展開

●ボトルは資源！ ロゴマーク展開

●ボトルtoボトル協定締結拡大



●2030年目標

グローバルで使用するすべてのペットボトルに、リサイクル材あるいは植物由来素材のみを使用

ASEANにおけるリサイクルペットボトル導入の取り組み

2022

2023

ベトナム

■4月
ペプシブランド100%リサイクルPET導入



■4月
サントリーブランド「Tea+」にも
100%リサイクルPET展開開始



タイ

■6月
規制改定
〔飲料容器へのリサイクルPET使用解禁〕

■4月
ペプシブランド
100%リサイクルPET導入



■5月
サントリーブランド「Tea+」
100%リサイクルPET導入

日本の生産チームが駐在し、日本の技術・ノウハウを展開